

## 開催候補地選定の評価項目及び評価の方法(案)

## 1. 評価項目

基本要件	<b>1 開催時（令和10年春季）に確実に使用できる会場施設</b>	
	(1) 開催日や会場準備期間に日程調整や使用期間の制限が少ないこと	日程調整や使用期間の制限がなく、問題なく開催が可能
		日程調整や使用期間の制限があり、調整が必要
		日程調整や使用期間の制限があり、調整が難しい
	(2) 公有地又は公有施設が望ましい	公有地又は公有施設であり、管理者の協力を得られる
		公有地又は公有施設ではないが、管理者の協力を得られることが確実である
		公有地又は公有施設でなく、管理者の協力を得る必要がある
	<b>2 式典運営が可能な会場施設</b>	
	(1) 【式典会場】 概ね3～4千人以上の参加者に対応できる式典会場を設置可能な面積を有すること	概ね3～4千人以上の参加者に対応できる場席や機材等を配備でき、運営上支障がない
		施設の形状や会場場所の位置等の影響により場席や機材等の配備を工夫しないと運営上支障がでる
		施設の形状や会場場所の位置等の影響により場席や機材等の配備が困難で、開催規模を縮小する必要がある
	(2) 【おもてなし広場】 概ね3～4千人以上の参加者に対応できるおもてなし広場を設置可能な面積を有すること	展示・販売スペースや休憩所等を効果的に配備でき、運営上支障がない
		施設の面積・形状等の影響により、展示・販売スペースや休憩所等の配置を工夫しないと運営上支障が出る
		施設の面積・形状等の影響により、展示・販売スペースや休憩所等の配置が困難で、広場の規模を縮小する必要がある
	<b>3 会場への良好なアクセス</b>	
	(1) 想定される招待者等宿泊先や関連行事会場から円滑な移動が可能な地域に確保できること	主要鉄道駅（特急停車駅）から借り上げバスで片道30分以内
		主要鉄道駅（特急停車駅）から借り上げバスで片道60分以内
		主要鉄道駅（特急停車駅）から借り上げバスで片道60分超
	(2) 災害や事故等の緊急事態に備え、想定される通行ルートの外に迂回路が存在すること。また、いずれの道路も大型バスの通行が可能であること	迂回路があり、想定される通行ルートと迂回路ともに大型バスの通行が可能
		迂回路があり、想定される通行ルートでは大型バスの通行が可能だが、迂回路では不可
迂回路がなく、想定される通行ルートも大型バスの通行が不可		
<b>4 荒天時会場の確保</b>		
(1) 式典会場（好天時）から比較的近く、1,500人以上の招待者等に対応できる屋内会場が確保できること	式典会場に近く、1,500人以上の収容が可能	
	式典会場に近く、1,000人以上の収容が可能	
	式典会場が所在する市町村内で会場の確保が困難	
<b>5 既存施設の活用</b>		
(1) 【式典会場】 大規模な用地造成や修景工事等を要しないこと	用地造成や施設整備等を要しない（経費はほぼ不要）	
	一部、用地造成や施設整備等を要する（一定の経費が必要）	
	用地造成や施設整備等を要する（多額の経費が見込まれる）	
(2) 【おもてなし広場】 大規模な用地造成や修景工事等を要しないこと	用地造成や施設整備等を要しない（経費はほぼ不要）	
	一部、用地造成や施設整備等を要する（一定の経費が必要）	
	用地造成や施設整備等を要する（多額の経費が見込まれる）	
大規模な用地造成や修景工事等を要する		

## 開催候補地選定の評価項目及び評価の方法(案)

## 1. 評価項目

6 開催経費の削減		
(1)	交通輸送・警備等の経費などの運営費が削減できること	宿泊場所集積地（高知市中心部）から時間・距離が借り上げバスで片道30分以内
		宿泊場所集積地（高知市中心部）から時間・距離が借り上げバスで片道60分以内
		宿泊場所集積地（高知市中心部）から時間・距離が借り上げバスで片道60分超
(2)	その他経費の縮減が可能であること	工程の省略等、コスト縮減が見込める項目がある
		工程の省略等、コスト縮減が見込める項目がない

その他の要件	1	会場までのアクセス道路の状態が良好であること	アクセス道路の整備状況が良好で、交通混雑等の影響が少ない
			アクセス道路の整備状況が悪い区間があり、交通混雑等の影響が懸念される
			アクセス道路の整備状況が悪く、交通混雑等の影響が懸念される
	2	大型バス乗降所及び駐車場（200台程度）、式典運営等関係車両の駐車場（50台以上）を配置できること	候補地近隣で大型バス駐車場200台程度および関係車両駐車場50台以上を配置可能
			近隣に駐車場が確保できるが、会場までの移動に時間を要する
			候補地近隣で大型バス駐車場200台程度および関係車両駐車場50台以上を配置不可
	3	会場所在市町村から全国植樹祭の開催に協力が得られること	市町村や周辺地域から協力を得ることが見込まれる
			市町村や周辺地域に対し、協力を要請する必要がある
			市町村や周辺地域からの協力が得られにくい
	4	会場及び周辺の環境・景観が良好であること	会場の周辺が樹木に囲まれており、周辺の景観が良好である
			会場の周辺が一部樹木に囲まれており、周辺の景観がやや良好である
			会場の周辺が樹木に囲まれていない
	5	おもてなし広場は、式典会場の隣接地に設定可能であること	式典会場に隣接している 又は 近隣に位置し円滑な来場者導線を描くことが可能
			概ね近隣に位置するが、来場者導線に工夫が必要
			近隣に設置できない
	6	式典会場周辺に高層建築物がないこと	全くない
			多少ある
			多くある
	7	式典参加者と一般利用者の棲み分けが容易であること	一般利用者との棲み分けができるため、利用者への影響は少ない
			一般利用者との棲み分けが難しく、利用者への影響が大きい
			一般利用者との棲み分けができないため、利用者への影響が非常に大きい

## 2. 評価の方法

- (1) 各評価ごとに点数を付し、点数を集計して最も高い会場を開催候補地として協議する。
- (2) 「その他の要件」の評点ウェイトは、「基本要件」の2分の1とする。
- (3) 「基本要件」の「5 既存施設の活用」において、「大規模な用地造成や修景工事等を要する」評価の場合は開催候補地として不適と取り扱う。